

令和4年第1回定例会

総務企画常任委員会  
会議録

期日：令和4年2月24日（木）

場所：大曲庁舎3階 議会応接室

大仙市議会総務企画常任委員会会議録

---

日 時： 令和4年2月24日（木曜日） 午前10時56分～午前11時20分

会 場： 大曲庁舎3階 議会応接室

---

出席委員（8人）

委員長	橋村 誠	副委員長	安達成年
委員	佐藤文子	委員	秩父博樹
委員	小笠原昌作	委員	小松栄治
委員	高橋敏英	委員	鎌田 正

---

欠席委員（0人）

---

遅刻委員（0人）

---

説明のため出席した者

企画部長	福原勝人		
地域活動支援課長	山信田 恭弘	移住定住促進課長	高橋 進

---

議会事務局職員出席者

事務局主任	藤澤正信
-------	------

---

審議案件

第1 議案第7号 令和3年度大仙市一般会計補正予算（第11号）

---

午前10時56分 開会

○委員長（橋村誠） 大変ご苦労様です。

委員各位及び職員の皆さまには、本会議休憩中のところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

早速ですが、ただ今から、総務企画常任委員会を開会いたします。

本日の審査は、お手元の審査日程表のとおり行いますので、よろしくお願いいたします。

なお、正確な会議録作成のため、発言の際は挙手の上、マイクのスイッチを入れてからお願いをいたします。

---

○委員長（橋村誠） それでは、議案第7号、令和3年度大仙市一般会計補正予算（第11号）を議題といたします。

当局の説明を求めます。山信田地域活動応援課長。

○地域活動応援課（山信田恭弘） 地域活動応援課の山信田です。よろしくお願いいたします。

説明に入る前に、本日出席しております職員をご紹介します。主任の佐藤洋平でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、議案第7号、令和3年度大仙市一般会計補正予算（第11号）のうち、地域活動応援課に係る歳入歳出予算についてご説明いたします。

お手元の資料ナンバー2-1、事業説明書に基づき、ご説明申し上げます。

2ページをご覧ください。

2款1項11目21事業、地域協働雪対策事業費につきましては、158万円の補正であります。

本事業は、地域住民による自主的な除雪等に対して補助金を交付するものでして、雪対策における住民参画と協働の促進を図るための事業となります。

「4」の補正の内容になりますが、2月7日に豪雪対策本部が設置されまして、著しく除排雪経費の増大が見込まれることから、要綱の規定によりまして、1団体当たり5万円を上限に追加補助を行うものになります。

本事業は、事業実施期間を11月1日から3月31日と定めておりまして、10月末までに申請がされております。

表は、地域別の状況、右の記載は、事業区分ごとに設定した追加分の積算単価になります。

37団体から申請がありまして、団体ごとに積算した実績見込み額と予算現額の差額分となる158万円の補正をお願いするものになります。

以上、地域活動応援課所管に係る補正予算についてご説明申し上げましたが、よろし

くご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（橋村誠） 説明が終了しました。

これより質疑を行います。質疑のある方はお願いいたします。

はい、佐藤委員。

○委員（佐藤文子） ちょとこう、確認ですけれども、この屋根の雪下ろしなどの事業を行っているわけですけれども、この高齢者等の場合には、福祉の方でやっている場合には個人負担が伴いますけれども、この雪対策協働の事業の中での個人負担というものは伴っているものなのかどうかということ。それから、それぞれの団体が担当する、何件ぐらいを扱ってやっているのかというふうなこと。それから、もう一つは、屋根の雪下ろしとかで事故等はほとんどないと思いますけれども、万が一の場合の事故に対する、あった場合のこの担当団体の皆さんに対する補償というようなもの、何かあるのかどうか。この3点について、お伺いします。

○委員長（橋村誠） はい、課長。

○地域活動応援課長（山信田恭弘） ただ今ご質問の個人負担に関してですが、こちらの方は申請団体ごとに作業費の設定をしておりますので、団体によっては個人負担をいただいているというところもございます。

2点目の件数についてですが、今年度の申請状況から、市全体でいきますと、1番多いのが高齢者世帯の間口除雪ですね、こちらの方が全体で105件となっております。

次に高齢者の屋根の雪下ろし、こちらの方が97件となっております。

それから、事故の際の補償というところですが、こちらの方、各団体の方に補助金を活用する組織としての作業を行う際には、保険の加入をお願いしているところです。それぞれの団体において、損保会社等への保険に加入をしていただいております。以上です。

○委員長（橋村誠） はい、佐藤委員。

○委員（佐藤文子） じゃあ、その保険の利用というふうなものは、今まであったものかどうか。

○委員長（橋村誠） はい、課長。

○地域活動応援課長（山信田恭弘） 平成29年度からこの事業を本格実施しておりますけれども、その間、事故等の報告はございません。

（「分かりました。」と呼ぶ者あり）

○委員長（橋村誠） 他に質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（橋村誠） なければ、質疑を終結します。

説明員の交代に伴い、暫時休憩します。

---

休憩 午前 11 時 3 分

再開 午前 11 時 4 分

---

○委員長（橋村誠） 審査を再開します。

次に、高橋移住定住促進課長。

○移住定住促進課長（高橋進） 移住定住促進課、高橋です。よろしくお願ひします。

はじめに、本日同席しております職員を紹介させていただきます。

移住定住促進班班長の佐々木彰人副主幹です。

それでは、議案第 7 号、令和 3 年度大仙市一般会計補正予算（第 11 号）のうち、移住定住促進課所管の歳出予算について説明させていただきます。

資料ナンバー 2-1、令和 3 年度補正予算（案）3 月補正①の事業説明書、1 ページをご覧ください。

2 款 1 項 10 目 13 事業、「ふるさと納税制度」関連経費は、3,000 万円を補正し、補正後の額を 1 億 3,958 万 4 千円とするものです。

本事業の目的につきましては、本市を応援しようとする方々からいただいた寄附金を原資とする基金を財源に各種事業を実施することで、地域課題の解決や活性化等を図るとともに、この制度での市の魅力等の PR により、大仙市のファンになってくれる方々を増やすことにつなげ、寄附件数及び寄附金額のさらなる増加を目指すもので、今年度の当初の目標は、寄附件数 8,000 件、寄附金額 2 億円としております。

資料 4 番になりますが、中段以降です。

今回の補正内容につきましては、今年度、新たなふるさと納税サイトでの寄附受け付けを検討し、導入に向けて取り組むことを事業内容の一つとしていたことから、利用者の満足度が 3 年連続 1 位で、約 4,800 万人のヤフーユーザーが気軽にふるさと納税ができるようにヤフーと連携している「ふるなび」、それと、東日本旅客鉄道株式会社が運営するため、ビューカードでの寄附者に対するポイントの付与や、首都圏の駅構内

等でのプロモーションが可能などの特徴がある「<sup>ジェイアールイー</sup>J R E <sup>モ ー ル</sup>M A L L ふるさと納税」の二つのサイトの導入により寄附額が増加したことに伴い、2月末に支払うべきサイト利用等に係る委託料予算に不足が生じることから、定例会初日の議決をお願いするものです。

なお、今年度の寄附件数・寄附金額につきましては、今回の補正予算要求期限の1月末に確認可能であった12月末現在の寄附件数・寄附金額を基に、件数を1万200件、金額を2億6,000円と見込んでおります。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願いいたします。

○委員長（橋村誠） 説明が終了いたしました。

これより質疑を行います。質疑のある方はお願いします。

（雑談あり）

○委員長（橋村誠） はい、小松委員。

○委員（小松栄治） 今年度でよ、3月までまだ時間あるんだけど、1番すよ、大仙市の方で物を送ったり、あるいは寄附を向こうから、県外から、これこれって要望するのは何が多いもんだすか。なんぼの金額だもんだ。

○委員長（橋村誠） はい、課長。

○移住定住促進課長（高橋進） やはりですね、うちの方はタニタがございますので、タニタ製品は全国の自治体で大仙市だけで、ちょっと1月末時点で調べた段階では、寄附件数の数はちょっと違いあるんですけども、9,900件の返礼品が1月末時点ですけれども、その中でタニタ製品が約2,800件、約30パーセント弱がタニタ製品と。加えて、寄附額で見ると、タニタの製品に係る寄附額が60パーセントぐらいになっています。その他、次に挙げるとすると米ですね。米も多くなっております。

今回あの、単月の物の他に、定期便というのも入れまして、そういったところで寄附額も増えてはいるみたいですよ。以上です。

○委員長（橋村誠） 小松委員。

○委員（小松栄治） それは分かりますけれども、その、あれは大々的にな、新聞あたりで予想できます。その他のごどなんですけれども、それ、ちょっと教えてください。

○委員長（橋村誠） はい、課長。

○移住定住促進課長（高橋進） 今言った、タニタが一つ目、1番目。その次に米。次に

上がるのが、いぶりがっこ、肉類ですね。ハンバーグ等も入った、加工品も入ってますけれども肉、これが4番目で、後は調味料ですね。味どうらくですとかが、ベスト5になります。

○委員長（橋村誠） はい。

○委員（小松栄治） 大仙市の中ですよ、ふるさと納税でこうやってやっているときに、いわゆるお菓子屋さんとかいろんなどころあるすおな。その中でやっぱりその、でぎれば身近な、市の方から送ってやるものについては、何1番いいべど思うすか。

（雑談あり）

○移住定住促進課長（高橋進） すみません、ちょっと菓子の中身までは分からないんですけど、ごくわずか、件数でいいますと、1月末現在で27件の菓子の返礼品は出ています。

○委員長（橋村誠） 他にありませんか。はい、佐藤委員。

○委員（佐藤文子） あの、花火の枚数、出したことあるんですけど、コロナがあって中止になったっていうようなこと、この方々に対してはどのような対処をされたもんだったんですか。

○委員長（橋村誠） はい、課長。

○移住定住促進課長（高橋進） 花火が中止になった際には連絡していますし、その他としましては、年賀状を送ったりですとか、そういった形で今回はやりました。

（雑談あり）

○移住定住促進課長（高橋進） いずれ申し込んでいただいた権利は翌年度、今回はまた更に翌年度に引き継いでいますけれども、それでよしとする人と「あとはもうやっぱり花火の返礼品は」っていう人は、別の返礼品に切り替えたりですとか、そういうふうな形になっています。

○委員（佐藤文子） 翌年度への持ち越しというふうな。分かりました。

○委員長（橋村誠） 他にありませんか。はい、秩父委員。

○委員（秩父博樹） あの、大仙市民で、大仙市の他に、このふるさと納税は他市町村に納めている件数だとか金額だとか、それから、他から大仙市の方に納めている件数・金額、この差の推移ってどんな感じなのかなと思って。

○委員長（橋村誠） はい、課長。

○移住定住促進課長（高橋進） 令和2年度の実績でお話しさせていただきますと、大仙

市に寄附があった金額につきましては、1億6,200万円ちょっとでした。それに対して、大仙市民が他市町村に寄附した金額につきましては、5,400万円ちょっとになります。さらに、他市町村に寄附したために市民税が控除された金額が約2,200万円という数字になっています。プラスにはなっています。

○委員（秩父博樹） 分かりました。あと、この一番下のところに、ふるさと納税のサイト、基本の五つとこれから新規の二つってことで、そのアクセスの多い少ないと、それから手数料これ全部違うと思うんですけど、その辺でここが有利とか不利とかって後で出てくるんじゃないかと思って。ここのサイトは成績がいいとか、こっちはもうちょっと頑張ってもらいたいとかって、その辺はちょっと分析、必要なのがなど思うんですけど、一覽みだいなものどがって後からあればなって思ったんですけども。

○移住定住促進課長（高橋進） 手数料が何パーセントだとか、そういった部分の資料ですね。分かりました。

○委員長（橋村誠） いいですか。

他にありませんか。はい、安達委員。

○副委員長（安達成年） 休憩挟んでもらえるすか。ここで聞くごどでねがもしれねの  
で。

○委員長（橋村誠） 休憩します。

---

休憩 午前11時15分

再開 午前11時17分

---

○委員長（橋村誠） それでは再開します。他に質疑はありませんか。

（質疑する者なし）

○委員長（橋村誠） なければ質疑を終結いたします。

説明員交代のため、暫時休憩します。

---

休憩 午前11時17分

再開 午前11時18分

---

○委員長（橋村誠） それでは、審査を再開します。



休憩前に引き続き、議案第7号、令和3年度大仙市一般会計予算（第11号）を議題といたします。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（橋村誠） 討論なしと認めます。

これより採決いたします。

本件は原案のとおり可決することに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（橋村誠） ご異議なしと認め、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

---

○委員長（橋村誠） 以上で、当委員会に付託された事件の審査は全て終了しました。

なお、本委員会の審査報告書及び委員長報告の案文につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（橋村誠） ご異議なしと認め、そのように決定しました。

以上をもちまして、総務企画常任委員会を閉会します。

大変お疲れ様でした。

午前11時20分 閉会

---

委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和4年 月 日

総務企画常任委員会委員長 橋 村 誠